

八街市協働のまちづくり検討会分科会報告書

分科会名	第2分科会		
テーマ	子育て・教育・生涯学習		
開催日	平成26年 7月 17日	検討回数	第5回

検討結果概要

1. 今回検討した項目

・支援を受ける側を4つの世代に分け、各々の世代に対しどのような施策があるのかをまとめ、問題点を把握する。

2. 今回の討議した内容(報告)

・未就学児・・・ブックスタート、子育てサロン、遊びの広場、おはなし会、園児と高齢者の交流会、障害児の会

・学齢期(小・中・高校)・・・体験学習塾、長期休業中の子どもの居場所づくり、夏休みボランティア講座、防災(防犯)教室

・社会人(現役世代)・・・親子教室、イベントの開催、子育てサロン、健康講座

・社会人(高齢者世代)・・・健康教室、お茶飲みサロン、ボランティア講座、園児と高齢者の交流会

問題点

現在、行政が実施している講座の参加者は、地区によって参加率が大きく変動している。

→各地区において、市民自身が主体となって事業を実施する必要がある。

→現行のボランティア団体等だけでは、人数が少ない。

→各地区において、ボランティアそしてコーディネーターを育成する必要がある。

→ボランティアやコーディネーターが自己犠牲ではなく、参加することに生きがいを見出せるようにするにはどうしたらよいか。

→ひとつの案としての提案であるが、ボランティアの対価として、市内の商店街で使える地域通貨を発行し使用してもらうことにより、あわせて商業の活性化を図るのも良いのではないだろうか。

3. 次回の検討方針

・中間発表において、各分科会の調査・研究内容について意見交換し、最終報告までに取りまとめる課題等を検討する。また、指針(案)の作成に向けて大まかな項目の分類分けを確認し分科会で横断的なものは無いか確認する。